

&lt;R3. 8. 23 保育課&gt;

## 0歳児入園選考方法の見直しについて

令和3年3月15日開催の第28回子ども・子育て会議においてご意見をいただきました、0歳児の入園について、次のとおり検討結果を報告いたします。

## (1) 現状と課題

- ・保育園等の入園（選考）については、基本指数（保育を必要とする事由）と調整指数（優先事由）により世帯状況を指数化し、その合計指数の高い児童から順に保育の利用を決定している。
- ・0歳児の申込については、1年の育休明けの利用など、年度の途中入園を希望する児童が多く、上記の入園選考方法によると、施設によって入園時期に偏りが生じる場合がある。
- ・民間施設では、0歳児の受入れに備えて4月から保育士を配置している施設もあることから、入園時期の早い児童を確保できるよう対応を検討する必要がある。

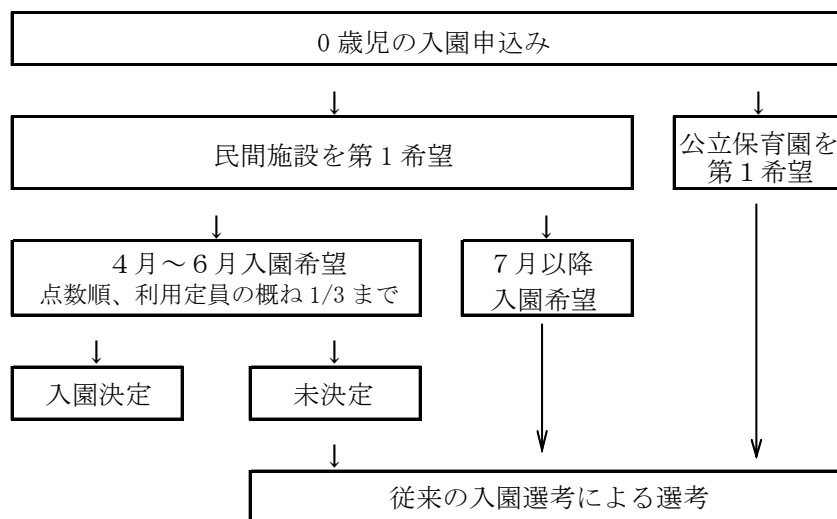
## (2) 検討結果

民間施設における保育士配置の現状等を踏まえ、入園時期が早い児童をできる限り確保できるよう次のとおり入園選考方法の一部見直しを行います。

<見直し内容>

従来の入園選考前に、民間施設に4～6月の入園を希望する0歳児について、一定数（利用定員の1/3程度）を優先して決定する。

## ◆見直し後の入園選考フロー



<見直し効果>

前年度（令和3年度新入園）申込データを基に見直し後の効果を検証した結果、民間施設における4月から6月の入園児童数が約1割増加した。

## (3) その他

- ・令和4年度入園申込受付分（令和3年10月受付分）から運用を開始します。
- ・0歳児選考方法の一部変更については、9月1日から配布する「教育・保育ガイドブック」で利用者に周知します。